



三条北ロータリークラブ週報

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

例会日
1995. 7. 18
累計 No 423
当年 No 3

国際ロータリー会長 ハーバード・G・ブラウン 第2560地区ガバナー 重田政信

会長/味方義一
幹事/木宮 隆
SAA/稲田 憲治

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事: クラブアッセンブリー 重田政信ガバナー公式訪問事前準備会

国際ロータリー第2560地区新潟第四分区代理 岡田健一様

出席: 本日の出席 55名中40名

先々週の出席率 55名中53名 96.36% (前年同期96.15%)

先週のメイクアップ: 7月12日 三条RCへ 中條耕二さん

16日 県内会長幹事会へ 味方義一さん 木宮 隆さん

17日 三条南RCへ 中條耕二さん

9日 五十嵐川クリーン作戦 長谷川恵慈さん (前号の週報に記載漏れがありました)

ビジター: 三条RCより 渡辺宏策さん

三条南RCより 橋本和雄さん

会長挨拶: 味方義一

本日は第四分区代理岡田健一様、ようこそおいでくださいました。三条南より橋本和雄さん、三条クラブより渡辺宏策さん、どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

今日は重田ガバナー公式訪問について、事前準備です。岡田健一様は、私の学友の先輩でありまして、私としては心強く感じております。よろしくご指導の程お願い致します。

先日県会長幹事会で高田へ行ってまいりました。第7分区の妙高、新井、糸魚川等の洪水による惨状の報告を聞き胸が痛む思いでした。豪雨による土砂崩れ、道路の陥没、濁流による河川の欠壊、家屋の流失、避難を余儀なくされた人達。今さらながら自然の天災の人力では思い及ばない怖さを思い知らされております。

この度ドイツ交換学生受入れについては国際奉仕委員会の皆様大変ありがとうございました。佐藤啓作さん、山上茂夫さん、坂本勝司さん夫婦とホストファミリーの方々にはお礼申し上げます。又、佐藤文夫さん、江口悟さん、外山晴一さん、お仕事お忙しいなか、ホストをしていただきあり

がとうございました。サラさん、マークスくんは大変充実した有意義な三条を満喫したことでしょ
う。

先程、11:19分の新幹線で、次の安中ロータリーへ出発しました。駅へ見送りに行ってきましたが、水原ロータリークラブ、吉田ロータリークラブの交換学生も一緒になりましたが、我がクラブ
への二人が一番まじめで、可愛く見えました。身びいきもありますが……又、先週土曜日にはホス
トをしていただいた皆さんの家族で坂本さん宅で、サヨナラパーティーを兼ねたバーベキュー会を
坂本さんの庭で開催しました。サラも奥様方と一緒にあって、喜々として手伝いをしておりまし
た。マークスも我々とも本当に楽しい一時を過ごさせていただきました。

駅では坂本さんの奥様と抱き合って涙を流して別れをおしんでおられました。私も感動致しまし
た。いかに我がクラブのホストの皆さんのおもてなしが、暖かく、アットホームな我が子のように
接していただいた、その心持が解ります。

彼らも一生の思い出として心に残ることでしょう。ホストご家族の皆様には感謝申し上げます。

幹 事 報 告： 木宮幹事

・7/16 新潟県会長・幹事会が高田東RCの主幹で上越デュオセレッツで開催された。地区幹事
より以下の要請があった。

①8/19(土)雑誌委員会議 高崎ターミナルホテル→樋口委員長

②10/1(日)会員増強セミナー 於湯沢 馬場委員長

尚詳細については後日連絡が来る予定ですが、担当委員長の出席をお願いします。

・周年行事の登録要請

①高田ロータリークラブ40周年の案内 8/27(日)於デュオセレッツ 登録2名

②佐渡南RC20周年の案内 9/10(日)於佐渡ニューホテル 登録2名

出席希望の方は事務局までご連絡下さい。

・第4分区IHの登録要請

9/3(日)三条燕ワシントンホテル 50%登録 7/25迄に分区代理へ連絡

各委員会毎に50%出席を要請済みですが未決定の委員会については至急出席者を選抜し事務局へ
連絡下さい。

・1995～1996年度ロータリー財団プログラム研究交換メンバー募集のお願い(GSE)

派遣地区 RI第2350地区 ノルウェー

派遣日時 1996年5月9日～6月9日迄 1ヶ月間

募集人員 4名(第2560地区全体で)

・夏期交換学生群馬安中RCへ出発

7/8～7/17迄10日間3名のホストファミリーの皆さん大変ご苦勞様でした。今月末(8月30
日)には佐藤啓策さんのご子息、哲成君がドイツへ出発されます。ロータリーの友の英語版とバ

ップで期待する所が「大」であります。

次に卓話を少しやれとの事ですので、6年前に燕の産業界に中国人を世話し、燕の商工会議所内
に委員会をつくり、委員長をしていた頃の事を少し話しをさせていただきます。いろいろしょうが
いが多くあった国際奉仕委員会でしたが、それでも私の会社の寮に中国の研修生をとめていた当
時、毎年4人ずつの子供が増えたような安配でした。「父さん」「母さん」と呼んでくれるように
なったものです。「てんしん」は900万の人口で安い労働力と考えるのはダメで、次々代のスパン
として考え、マーケットを増やしていくという方がベストのようです。彼等は一流大学を出て、語
学や会話は全く不自由なくかえって燕弁でビジネスではない、シビアでフランクな付き合いとして
本音で話させていただきました。彼等は自分からはあまり発言しないものですから、最初の頃は色
々な誤解が生まれたようです。6年前中国へ行行った最初の時は子供は頭をなでるな、ほゝをなでな
さいと言われました。馬鹿にされたように受取るらしいのですが、今はしないようです。気付いた
事をアトランダムにあとは話させていただきますが、日本人はウソだと立証されるまで、相手を信
じるのですが、中国人は本当だとわかるまで人を信じない。ですから、交渉事のスパンが長くなり
ます。日本人、とくにロータリアンは最初に人を信じるのですが、中国人は約束事は余りしない。
「いつですか?」「何時ですか?」と確認するまで時間がかかります。保証人などはなかなか大変
でウソは云わない。約そく事は絶対に守るようにしたいものです。

又、中国の研修生のマンションに招待された時、研修生が買い物に出かけた時に、その母が顔色
を変えて怒っているのです。それはトイレに用足しにいかうとしたら、「手紙」「手紙」とさけん
で必死なんです。あとで聞いたら「手紙」とは「トイレットペーパー」の事で、研修生がそれを買
いにいっていたのです。まあ2年間位風土や語学の勉強をさせられました。向こうでは絶対「バ
カ」という言葉を使ってはダメと教育されて来たのですが、ある研修生の所の社長が「バカ上手ら
ねか」とほめられたのでした。でも本人は「私はもうダメです」と落たんしておったので、病気か
ケガか心配しました。後で誤解である事に気付いたのですが、その上に「輪」をかけて私の祖母が
80歳なのですが、手料理の「くるまふ」の煮物を出す時に「バカうんめっけの」といったので、ま
たまた大変でいろいろありました。そんなこんなですが、当時の研修生達は今は立派にサンヨー電
気の合弁会社の社長室長になっており、又、ある金属会社の順備室長等々になっており、大変な活
躍をして頑張っておるようです。

その他、様々な経験を見たり聞いたり体験させていただきましたので、何かの参考になればと思
い、機会がございましたら「ビジネス」に関係ない話とかを呼んでいただければお話させていた
だきたいと思います。

最後までご静聴ありがとうございました。

7月25日例会： ガバナー公式訪問

8月1日例会： ロータリー情報と会員卓話